

羽咋市地域IoT実装ビジョン 概要

策定の背景と目的

- (1) 人口減少・少子高齢化社会の到来
- (2) 近未来技術の社会実装の必要性
- (3) Society5.0、SDGsを踏まえた持続可能な地域社会の構築

本ビジョンの位置づけ

- (1) 国の計画等に準拠・勘案
「未来投資戦略」、「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」、「未来をつかむTECH戦略」、「自治体戦略2040構想研究会」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等に準拠・勘案した計画とする。
- (2) 羽咋市の計画等
本市最上位計画「羽咋市総合計画」を補完する本市地方版総合戦略「がんばる羽咋創生総合戦略」及び行政改革の指針「羽咋市行財政改革大綱」と連動するもの。

対象期間

2019年度～2024年度までの6年間
※連動する計画の改定又は更新時期に合わせたもの。ただし、各分野施策及び取組内容は適宜、追加及び見直しを行う。

目標設定、PDCAサイクルの確立

- (1) 推進体制
市長を本部長とする「羽咋市まち・ひと・しごと創生本部」で全庁的な推進体制を図り、部課(室)等を横断した事業の進行、情報共有、連携・協力体制を構築
- (2) 検証体制
羽咋市総合戦略の推進に関する策定及び検証機関として、市民代表を含めた産学官金労言士等の有識者会議「羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」を組織
- (3) フォローアップ
各分野の施策推進及び産学官金の連携強化を図るためのコンソーシアムを形成し、それぞれの強みや専門性、高度技術を生かすことで、施策の推進を図る。併せて国、県及び財政的支援や人的支援等を積極的に活用

地域IoT実装による羽咋市が目指す将来像

(1) 基本方針	『IoTが支える市民が主役となるまちづくり』 ※「第5次羽咋市総合計画」に掲げる本市の目指す将来像を実現し、施策横断的なプロジェクトの方向性を定めるもの。
(2) 基本的な考え方	①羽咋市総合戦略と羽咋市行財政改革大綱との連動 ②官民データの活用・推進と地域情報の見える化 ③客観的データに基づく政策立案 ④産学官連携による実装と事業展開
(3) 基本目標	①産業振興と経済循環による地域の活性化 ②時代に合った持続可能な地域社会の構築 ③行政事務の効率化と業務改善の推進
(4) 分野施策	「農業分野」と「医療・介護・福祉分野」 ※将来的には、他分野（防災、観光、環境、雇用・産業創出、子育て支援、教育、都市づくり等）の取組内容追加し、横展開と応用、分野横断プロジェクトでの実施を目指す。

将来像の実現に向けての取組

目標	分野	施策
基本目標1	農業	スマート農業の推進 
基本目標2	医療・介護・福祉	スマートウェルネスシティの推進 

ビジョン推進のための基本事項

- (1) 職員の推進姿勢
- (2) 国及び県計画等との整合性と連携
- (3) セキュリティ対策と個人情報の適正な取扱いの確保